

平成30年度貝塚市郷土資料展示室企画展

くすのきまさしげ

楠木正成と

中世貝塚の武士たち

鎌倉時代末期から南北朝時代にかけて活躍した**楠木正成**の生涯と、彼のもとで活躍した貝塚の武士、**橋本氏**、**南氏**を紹介します。また、木こ積つみの**楠木神社**（西葛城神社）の伝説に登場する松浦まつら氏、南北朝時代の伝説として伝えられる水間寺のおなつせいじゅうろう夏清十郎についても紹介します。

紙本著色 楠木正成像 妙順寺蔵



平成31年 **3**月**9**日(土)～**4**月**21**日(日)

会場 **貝塚市郷土資料展示室**
(貝塚市民図書館2階)

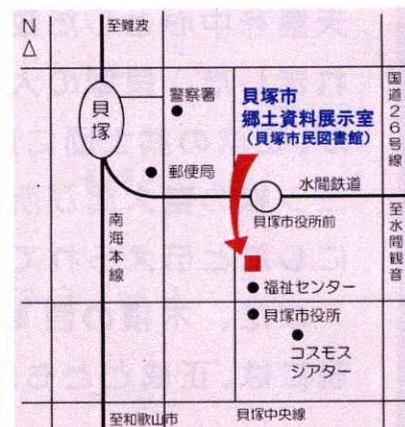
開室時間 午前9時30分～午後5時

休室日 毎火曜日、3月21日(木・祝)、4月3日(水)

観覧料 無料

交通 南海本線「貝塚」駅のりかえ

水間鉄道「貝塚市役所前」駅下車すぐ



主催 貝塚市教育委員会



日本歴史スタンプ（楠正成）
個人蔵



楠木正成・正行陶器人形（桜井の別れ）
個人蔵



錦絵 湊川大合戦図 摂河泉文庫蔵

楠木正成と貝塚

楠木正成は、1334（建武元）年、「建武の新政」の名で知られる後醍醐天皇を中心とした政治が始められると、和泉国（泉州地域）の守護に任せられました。貝塚の人びととの直接的な関わりを示す記録は残っていませんが、正成の武士団には、貝塚市橋本出身といわれる橋本正員、三ツ松の南大蔵が所属し、湊川の合戦で正成とともに討ち死にしたと伝えられています。

また、木積の西葛城神社に合祀されている楠木神社の伝説には、正成とともに戦国時代の武士、松浦氏が登場します。

